

国土強靱化 丹波市地域計画

令和 7 年 3 月 版
丹 波 市

目次

I	はじめに	1
1	策定の趣旨	
2	計画の位置づけ	
3	計画期間	
II	基本的な考え方	3
1	丹波市の地域特性等	
2	基本目標	
3	強靱化を推進する上での基本方針	
4	特に配慮すべき事項	
III	リスクに対する脆弱性評価	7
1	想定するリスク	
2	丹波市における「起きてはならない最悪の事態」	
IV	強靱化に向けた推進方針	12
1	「起きてはならない最悪の事態」別の推進方針	
V	計画の推進	23
1	計画の進捗管理	
	[別表]○強靱化を推進する主な事業（令和2年度～令和6年度）	24
	[参考]○兵庫県の強靱化を推進する主な事業（令和元年～令和10年）中 の丹波市関連の事業一覧	35
	【別紙】「起きてはならない最悪の事態」ごとの脆弱性評価の結果	

I はじめに

1 策定の趣旨

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災は、我が国において、社会経済的な諸機能が高度に集積する都市を直撃した初めての直下型地震であり、6,000名を超える死者、63万棟を超える住家被害が発生した。

以降、東日本大震災による津波被害（平成23年）、平成28年には熊本地震、平成30年には大阪府北部地震、北海道胆振東部地震と西日本豪雨災害、そして令和元年には台風第15号による千葉県での大規模停電、台風第19号の千曲川など大規模河川の氾濫など、近年、自然災害が発生するたびに、その経験を教訓として国をはじめ関係機関が様々な災害対策を講じながらも、自然災害は文明社会の弱点、課題を突き付けるように毎回、新たな課題と社会的危機を露わにしている。

本市では、平成16年10月の台風第23号による大規模浸水被害、平成26年8月の丹波市豪雨災害による大規模土砂災害、避難所開設、借上型応急仮設住宅への入居、ボランティアセンターの開設・運営など、これまで経験したことのない災害対応に直面した。さらに平成30年7月の西日本豪雨災害時には、初めての「大雨特別警報」が発表され、市域全域に浸水被害等が発生し、もはや「災害は忘れた頃にやってくる」ではなく、まさに「災害は忘れないうちに必ず起こる」気象状況にある。

こうした中、大規模自然災害等に備えた国土の全域にわたる強靱な国づくりに向け、国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成25年12月に強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法（平成25年法律第95号。以下「強靱化基本法」という。）が公布・施行され、平成26年6月には、強靱化基本法第10条に定める「国土強靱化基本計画」が閣議決定された。国は国土強靱化推進本部を設置し、強くしなやかな国民生活の実現を図る国土強靱化の取組を推進することとしており、平成30年12月14日に近年の災害の知見や施策の進捗状況を踏まえ、国土強靱化基本計画の変更を行っている。兵庫県においても、平成28年1月に国土強靱化地域計画が策定され、令和2年3月に改定されている。

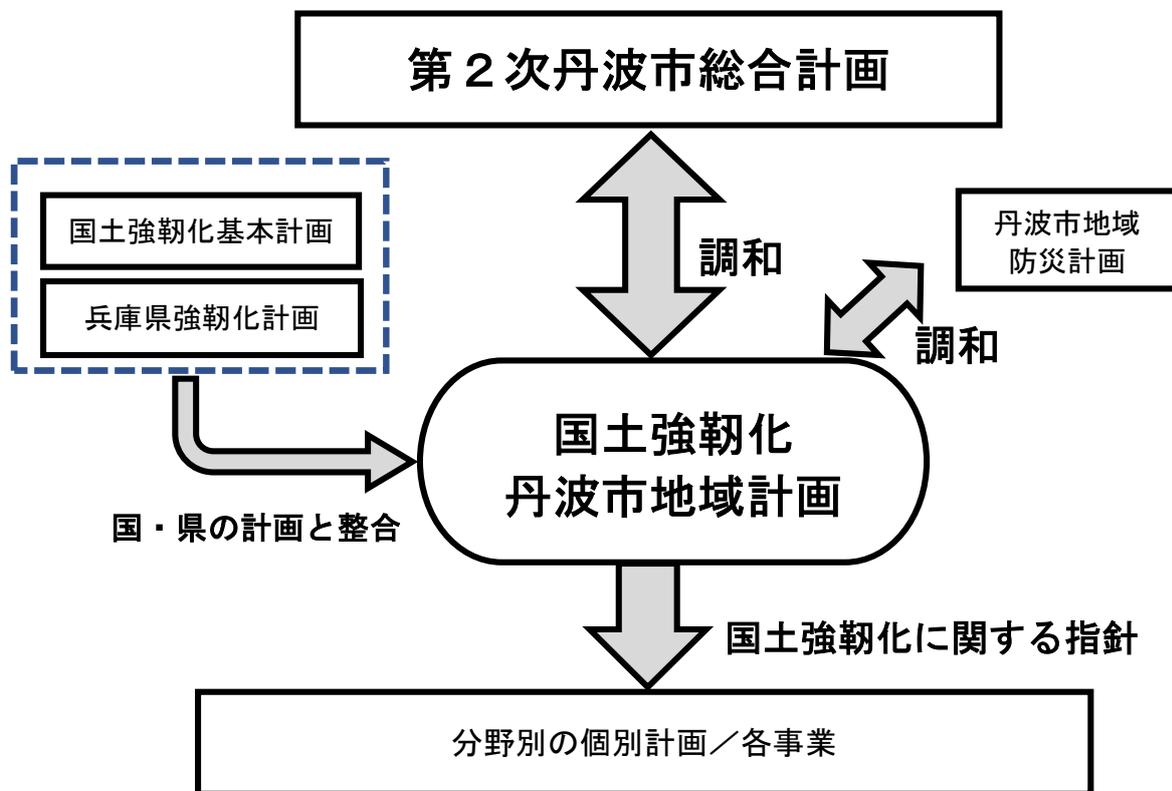
本市は、このような国や兵庫県の取組に合わせて、国土強靱化に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、市民・国・県・事業者等とともに強靱で安全・安心な地域づくりを進めていくため、国土強靱化丹波市地域計画を策定することとする。

2 計画の位置づけ

国土強靱化丹波市地域計画は、強靱化基本法第13条に規定する国土強靱化地域計画として策定するものであり、本市の強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となるべきものとして位置づけるものである。

そのため、策定にあたっては、市政運営の指針である第2次丹波市総合計画（以下「総合計画」という。）、丹波市地域防災計画等との調和を図ることとする。

【イメージ図】



3 計画期間

令和2年度から概ね5年間とする。

Ⅱ 基本的な考え方

1 丹波市の地域特性等

本市の地形は全体として播但山地に属する中央山地に属している。標高は西部の粟鹿山で標高 962m、三国岳 855m、篠ヶ峰 827m、竜ヶ岳 817m などの山地が連なり、中央部で標高 80m～100m 前後の盆地の地形となっている。標高の最も低い所は北東部の竹田川の市境界部付近で、標高約 32m となっている。

市の東部を由良川水系の竹田川が北方向に流れ、中部以西は、加古川水系の本川と篠山川などの河川が南流している。

地形特性からの自然災害の危険性については、一般に丹波山地は老年期地形といわれ、山地の地形は山頂にいくほど傾斜が緩やかになり、山麓部にいくほど急傾斜の地形となる傾向がある。このため、山地の起伏の大きさにかかわらず、大起伏山地、中起伏山地、小起伏山地ともに斜面下部で斜面崩壊が発生しやすい。

また、尾根と谷底の高低差が大きく、斜面の侵食による堆積土砂量が多くなることから、土石流危険渓流に該当することが多く、土石流災害の危険性がある。

河川沿いの低地や山間部の谷底平野は、河川の侵食・運搬作用による堆積地形である。そして堆積後の経過時間が短いため、堆積土砂が固結せず不安定な地形となっている。このため、地震時には地震動が増幅されやすく、地震による災害が発生しやすい。

山麓部の一部には、低地との間に段丘地形が分布する。段丘は全般に平坦な台地であり安定した地形である。しかし、段丘の周辺には段丘崖とよばれる急斜面が分布する。この急斜面は斜面崩壊しやすい性質がある。

山地の麓には、一部に山麓地が分布する。これは、山地斜面が侵食された結果の土砂などが堆積した地形で、まだ十分固結していない地形である。このため、地すべりや土石流災害の危険性がある。

谷部には谷底平野が細長く分布する。この地形はその上流の山地部で土石流が発生した際に土砂流の通り道や堆積地となるため、土石流災害を受ける危険性がある。

また、河川沿いの低地は、堤防の決壊や越流などによる外水氾濫、降雨の排水不良等による内水氾濫などの水害の危険性がある。

地質は、表層地質図によれば、全体として丹波帯(固結堆積物)と有馬層群(火山性岩石・流紋岩類)の固結した岩石類を基盤岩とし、地質による災害の危険性については、本市付近の地質は比較的安定している傾向にある。しかし、斜面の傾斜と地層の傾斜が同じ向きの場合、流れ盤とよばれ、斜面崩壊や岩塊の滑落・落石などの危険性がある。

一方、有馬層群は火山性の地質でマグマや溶岩が冷えて固結した岩石である。このため、地層は発達せず、岩塊として分布する。この地質も約 7000 万年前に噴出・形成された地質で、固結した塊状岩盤である。亀裂に沿って風化作用が進み、岩塊の剥離などによる斜面崩壊・落石の危険性がある。

低地に分布する沖積層は軟弱な地盤であり、中高層建築物の支持層とならない柔らかさである。このため、地震時などには地震動による揺れが増幅されて、建物や構造物などに被害が発生しやすい。

本市南部には、阿草断層があり、ほぼ南北に通っている。断層部付近では、固い岩盤も断層運動により破碎されてきわめて脆くなっていると、地下水の通り道ともなっている。このため、斜面内に断層が分布する箇所などでは、斜面崩壊や地すべり災害などの危険性がある。

気候は内陸型で、一般に多雨多湿、冬季は北西風の季節風が吹き、積雪もみられる。市の気候は、アメダス(柏原)によれば、年平均気温は 14.2℃、平均降水量は 1,538 mm、平均風速 1.8m となっている。晩秋から春先にかけては時雨や雪の日が多い傾向にある。

神戸地方気象台の資料によれば、兵庫県内で大雨の降りやすい地域として丹波山地一帯があげられている。また、暖候期には瀬戸内海から日本海の手風が河川沿いに進入して丹波地域付近で収束して、上昇気流となり雷雲を発生させる特性がある。

気象庁の資料によれば、2000年～2019年の20年間、本市で1時間降水量が40mm以上50mm未満の回数は14回、50mm以上の回数は8回、日雨量が100mm以上200mm未満の回数は21回、日降水量が200mm以上の回数は1回となっている。

土砂災害と降水量の関係では、1時間降水量が40mm以上で24時間降水量が100mmを超える降雨で発生している傾向にある。

浸水害と24時間降水量の関係をみれば、24時間降水量が50mmを超える、又は1時間降水量が20mmを超えると浸水害が多くなる傾向がみられる。

また、平成26年8月の丹波市豪雨災害では、被災地の最寄りの観測地点の北岡本（国土交通省所管）の数値は次のとおりである。

【平成26年8月16日～17日の観測情報：市島町北岡本】

1時間降水量 91.0mm (8/17 2:00～3:00)
24時間降水量 414.0mm (8/16 7:00～8/17 7:00)

気象の極値（気象庁 柏原観測所）

項目	極値(第1位)	年月日	備考
日最高気温	39.2℃	平成6年8月8日	
日最低気温	-9.9℃	昭和61年3月1日	
日最大風速・風向	20m/s 南南東	平成3年9月27日	
日降水量	258mm	平成11年9月7日	
日最大1時間降水量	94mm	平成25年9月2日	
最大10分間降水量	39.5mm	平成26年6月12日	全国第7位の記録
月降水量（最大）	669mm	平成25年9月	
月降水量（最小）	4mm	平成30年11月	
月間日照時間（最大）	251.4時間	令和元年5月	
月間日照時間（最小）	33.3時間	平成15年7月	

<丹波市地域防災計画から抜粋し、一部修正>

2 基本目標

本市が強靱化を推進する上での基本目標として、

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 人命の保護を最大限図ること ② 市及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること ③ 市民の財産及び公共施設に係る被害を最小化すること ④ 迅速に復旧・復興すること |
|--|

の4つを掲げ、関連施策の推進に努めるものとする。

3 強靱化を推進する上での基本方針

(1) 長期的観点からの推進

- ・ 本市の総合計画及び基盤整備に係る各計画に基づく事業を包括的に検討し、本市の将来の整備像に向けた長期的な視野を持って計画的に取り組む。
- ・ 南海トラフ地震など、全国規模で社会的、経済的被害が予想される大規模災害に向けて、地域の経済社会システムの確保及び市民の生活の安定が図れるよう各機関の検証、研究情報の収集に努める。

(2) 各主体及び地域間連携の推進

- ・ 強靱化に向けた取組の主体は市だけでなく、国・兵庫県さらには隣接する京都府・福知山市と相互に課題の認識・共有、連携、協力が必要である。また、本市が進めるべき強靱化への課題については、近隣市町と連携をし、兵庫県・京都府とともに国への働きかけを行う。

(3) 効果的な施策の推進

- ・ 広域な市内各地域の特性・課題に応じて、自然との共生、環境との調和及び景観の維持に配慮する。
- ・ 女性、妊婦、高齢者、子ども、障がい者、外国人住民のほか、観光客等の来訪者にも十分配慮して施策を講じる。

(4) 効率的な施策の推進

- ・ 社会資本の老朽化等を踏まえ、更新だけではなく、適時適切な維持管理による長寿命化を図るなど、効率的かつ効果的な財政運営に配慮し、施策の重点化を図る。
- ・ 当初の設置目的が完了した社会資本を用途変更など、有効活用することにより、費用を削減しつつ効率的に施策を推進する。
- ・ 人命を保護する観点から関係者の合意形成を図りつつ、山林と住宅地間の余裕域（バッファゾーン）を確保するなど、土地の合理的利用を促進する。

(5) 個別事業の取組

①ハード事業の推進

- ・ 南海トラフ地震、近隣の活断層を震源とする直下型地震などによる最大震度5弱～6強の揺れに耐え、行政機能、基幹道路の流通機能及び社会インフラ機能が停止しないことを目標に計画的に個別事業を推進する。
- ・ 治水対策については、加古川・竹田川それぞれの総合治水計画を基本に、管理者である県と常に連携を図り、効果的かつ迅速な取組を進める。
- ・ 新たな主要幹線道路になる国道175号高規格化道路整備計画、また整備中の国道429号（榎峠バイパス）については兵庫県・京都府及び地元との調整を円滑に進め、国土強靱化に寄与することを目指す。

②ソフト対策の推進

- ・ 地域全体での強靱化を推進するため、「丹波市『心 つなぐ』防災の日条例」に掲げる自助・共助の精神と市の責務の周知・普及を図る。
- ・ 自主防災組織、各事業所の防災担当者に対して兵庫県の防災リーダー養成講座など系統的な研修の受講を促進し、地域・事業所での専門的かつ実践的な研修・訓練の実施を推進する。

- ・ 女性、妊婦、高齢者、子ども、障がい者、外国人住民等、災害時において支援が必要となる可能性が高い人に対して、十分に配慮した施策を推進する。

4 特に配慮すべき事項

(1) 平成 30 年以降の災害からの教訓

平成 30 年の大阪府北部地震、西日本豪雨災害を受け、国は「重要インフラの緊急点検」を実施し、災害時に生命や財産の保護に加えて、国民の暮らしや経済活動を支える重要なインフラ機能が重要になることについて多くの知見を得ている。さらに、令和元年度の佐賀県を中心とする九州北部の豪雨、千葉県での大規模停電となった台風第 15 号、関東・甲信越で多くの河川氾濫を引き起こした台風第 19 号など、被災市町村の経験からも学ぶべき教訓は多くある。以下、本市に関わりのある具体的事例を示す。

- ① 通勤・通学途中の地震発生は職員参集の混乱、被害状況把握などの初動において致命的なダメージとなること。(平成 30 年大阪府北部地震)
- ② 時間雨量が 10 mm 前後の雨が継続する降雨においても、降り始めからの累計雨量を注視し、急に激しい降雨となった際には広域に被害が一斉に発生するおそれがあるため、常に累計雨量と以降の降雨予想に留意することが重要であること。(平成 30 年 7 月豪雨災害)
- ③ 深夜の時間帯における避難情報の発令は、就寝している市民を確実に起床させ、災害への警戒体制にすることを主目的に、具体的な避難行動(垂直避難、朝まで自分の命を自分で守るようなど)を呼びかけること。(平成 30 年以降風水害全般)
- ④ 内水氾濫対策で排水機場を操作する場合、本川下流域の被害防止のために河川管理者が排水機場の停止を命じ、結果、上流域で内水氾濫被害が発生すること。(令和元年 8 月の前線豪雨：佐賀県)
- ⑤ 工場の浸水で、地下貯蔵の廃油が泥水と一緒に地域一帯に流出し、水が引いた後も大きな被害となり、復旧と補償関係での課題となったこと。(令和元年 8 月の前線豪雨：佐賀県)
- ⑥ 本川の急激な水位上昇による支川へのバックウォーター現象が発生し、水位計・監視装置などが整備されていない中小河川の越水氾濫が本川より先に起きること。(平成 30 年 7 月豪雨災害、令和元年東日本台風：第 19 号)
- ⑦ 台風の強風で飛散物が電線・電柱等に架かり、停電の原因になる。その件数が集中すると電力事業者のみの復旧作業ではかなりの時間(数週間単位)を要すること。(平成 30 年台風第 21 号：阪神地区の停電)
- ⑧ 高圧送電設備の鉄塔が強風で倒壊すると、停電被害は県域等の広域に及び、電力の復旧にはかなりの時間(数カ月単位)を要する。医療施設など優先施設には速やかに電源車の手配などが急務であること。(令和元年台風第 15 号：千葉県)
- ⑨ 国管理で整備が進んでいる大河川であっても、1000 分の 1 想定降雨レベルにより越水・決壊氾濫が発生すること。(令和元年東日本台風：第 19 号)
- ⑩ 特別養護老人ホームなどの入所施設、拠点病院など浸水に強い高層の建築物において、周辺の浸水継続時間が一日以上の場合、多数の配慮が必要な人の救助作業が必要になること。(令和元年東日本台風：第 19 号)
- ⑪ 住家の浸水被害では、急な浸水と床上浸水で家具や畳が浮き上がり、二階への避難行動がとれなくなり、犠牲になられた方の多くは、二階ではなく、一階で死亡されていること。(平成 30 年 7 月豪雨災害：岡山県)

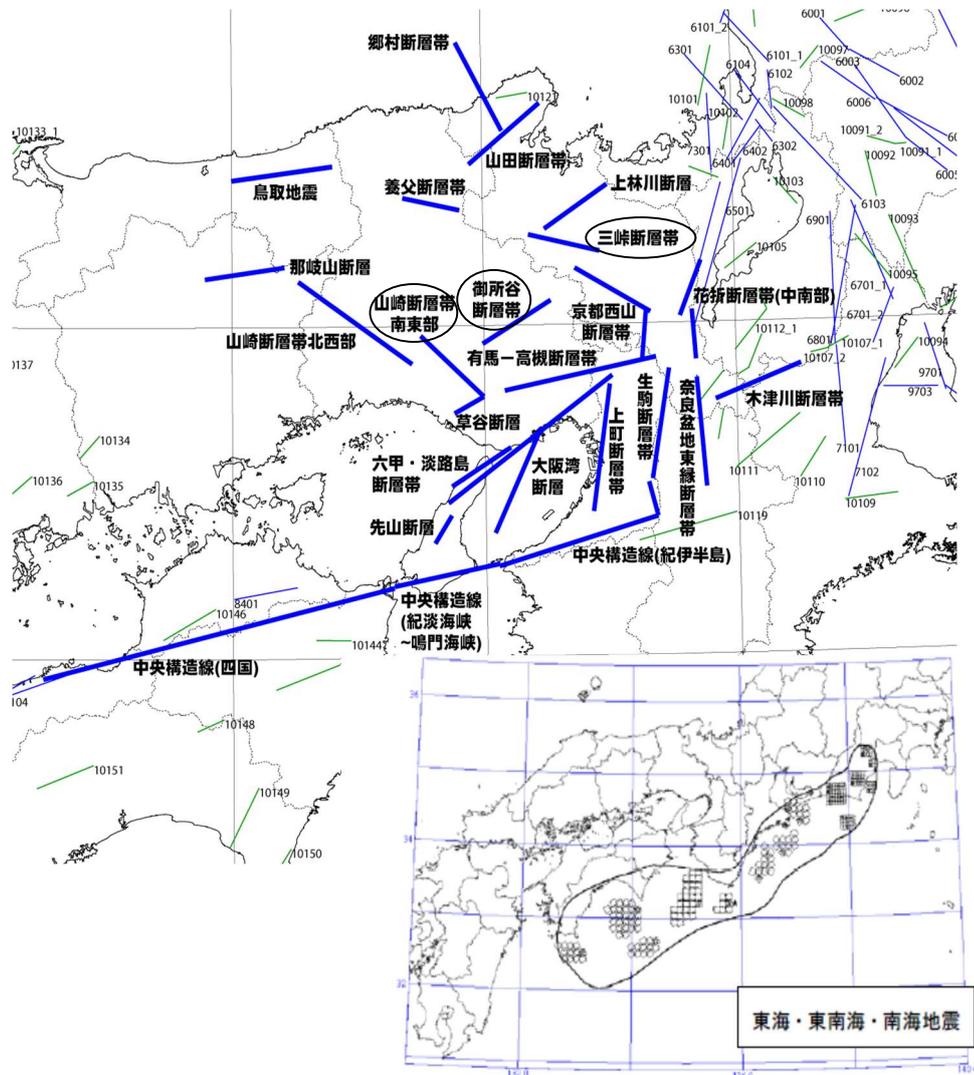
Ⅲ リスクに対する脆弱性評価

1 想定するリスク

市民生活及び経済への影響に鑑み、発生すれば甚大な被害が生じる地震（南海トラフ地震等）、近年頻発している豪雨等による土砂災害・風水害等の大規模自然災害を想定するリスクとし、兵庫県の被害想定、過去の被害状況や発生確率、被害想定等を次のとおり提示する。

(1) 地震

- ① 三峠—京都西山断層帯（三峠断層帯）地震
- ② 御所谷断層帯地震
- ③ 山崎断層帯（主要南東部・草谷断層）地震
- ④ 南海トラフ（東海・東南海・南海）地震



(2) 豪雨等による土砂災害・風水害等

兵庫県が平成 30 年から令和元年にかけて調査及び告示した洪水浸水想定によれば、加古川や竹田川などの主要河川及び県管理の支川河川の洪水浸水危険範囲が示されている。これによれば、全体として本川周辺を中心に床上浸水(0.5~3.0m)の区域が占め、低地部分で一階天井まで水没(3.0~5.0m)となる住家区域もあり、さらに一部、住家のある区域で最大浸水深が 5.0m を超える想定箇所もある。

なお、兵庫県が平成 16 年台風第 23 号での高谷川流域の床上浸水の対策として、加古川と柏原川の間「背割堤」を設置し合流点を下流に付け替える工事を実施し、平成 25 年 7 月 31 日に完成した。これにより、加古川本川の水位の影響を受けずに柏原川・高谷川の流水を流すことができ、以降の数度の大雨において、支川で最大約 1m の水位を低下する等の効果を発揮している。

地域	地形・災害履歴による水害特性	兵庫県浸水想定による水害特性
柏原地域	柏原川及びこれに合流する小河川がある。平成 16 年台風第 23 号では加古川と柏原川の合流部付近で浸水した。これらの合流部などの谷底平野部で水害の危険性がある。また、柏原付近の旧河道部などでは浸水の危険性が高い。	柏原川沿いで 1.0~2.0m未満の浸水が予想される区域があり、河川沿いの低地等で水害の危険性がある。
氷上地域	鴨内谷川や葛野川などの小河川が合流している。平成 16 年台風第 23 号では、加古川と葛野川の合流部から下流側の両岸で広く浸水した。中小河川の合流部などの谷底平野部で水害の危険性がある。	佐野橋付近右岸と高谷川との合流部付近では 2.0~3.0mの浸水が、また、加古川と葛野川の合流点付近では 1.0~2.0mの浸水が予想されるなど、河川沿いの低地等で水害の危険性がある。
青垣地域	加古川の水源地域にあたり、奥塩久谷川・遠阪川や芦田川などの多くの小河川が合流している。平成 16 年台風第 23 号では山垣・中佐治・大名草・口塩久・東芦田などで浸水した。中小河川の合流部などのある谷底平野部で水害の危険性がある。また、西芦田付近の旧河道部などでは浸水の危険性が高い。	加古川及び遠阪川沿いでは 0.5~1.0m未満の浸水、遠阪川では 0~0.5m未満の浸水が予想されるなど、河川沿いの低地等で水害の危険性がある。
春日地域	黒井川、竹田川及びこれに合流する小河川がある。平成 16 年台風第 23 号では黒井川の上流部などで浸水した。これらの合流部などの谷底平野部で水害の危険性がある。また、東中から棚原にかけての旧河道部などでは浸水の危険性が高い。	竹田川沿いの多田地区北部付近では、2.0~3.0m未満の浸水が予想され、竹田川や黒井川沿いの平野では、1.0~2.0mの浸水が予想されるなど、河川沿いの低地等で水害の危険性がある。
山南地域	佐治川、篠山川及びこれに合流する小河川がある。平成 16 年台風第 23 号では、加古川の両岸部で浸水が目立った。これらの合流部などのある谷底平野部で水害の危険性がある。また、池谷から山崎にかけての旧河道部などでは浸水の危険性が高い。	加古川と篠山川の合流点付近では 1.0~2.0m未満の浸水が、また牧山川沿いで 0.5m未満の浸水が予想されるなど、河川沿いの低地等で水害の危険性がある。

市島地域	<p>鴨庄川・前山川・美和川やこれらに合流する小川がある。平成 16 年台風第 23 号では竹田川と鴨庄川の合流部や友政付近などで浸水し、平成 26 年の丹波市豪雨災害では、前山川で国道 175 号の八日市橋が崩落した。竹田川支川の合流部などの谷底平野部で水害の危険性がある。また、上竹田から下竹田にかけての旧河道部などでは浸水の危険性が高い。</p>	<p>竹田川沿いで東勅使付近の右岸(4.0～5.0m未満)と南付近(3.0～4.0m未満)が特に目立っており、その他、市島付近(2.0～3.0m未満)・久良部付近(2.0～3.0m未満)・友政付近(2.0～3.0m未満)・水西付近(2.0～3.0m未満)・下竹田付近(2.0～3.0m未満)の浸水が予想されるなど、河川沿いの低地等で水害の危険性がある。</p>
------	--	--

(丹波市地域防災計画より抜粋、一部修正)

地域	土砂災害特性
柏原地域	急傾斜地及び土石流危険渓流が見長・石戸・南多田などにみられ、斜面崩壊や土石流災害の危険性がある。下小倉付近の山地に地すべり危険箇所があり、地すべり災害の危険性がある。
氷上地域	急傾斜地が賀茂・長野・福田などにみられ、斜面崩壊の危険性がある。土石流危険渓流が南油良・北油良・中・油利などにみられ、土石流災害の危険性がある。
青垣地域	急傾斜地が東芦田、遠阪・神楽地区などにみられ、斜面崩壊の危険性がある。遠阪・神楽地区には土石流危険渓流もみられ、土石流災害の危険性がある。
春日地域	急傾斜地が黒井・鹿場・上三井庄・野瀬などにみられ、斜面崩壊の危険性がある。土石流危険渓流が古河・野村や東部の山地に広くみられ、土石流災害の危険性がある。
山南地域	急傾斜地が上久下地区、和田・谷川(笛路)などにみられ、斜面崩壊の危険性がある。土石流危険渓流が上久下地区、小野尻・谷川(笛路)などにみられ、土石流災害の危険性がある。上久下地区に地すべり危険箇所があり、地すべり災害の危険性がある。
市島地域	急傾斜地が、前山・鴨庄地区、乙河内などにみられ、斜面崩壊の危険性がある。土石流危険渓流が前山地区、戸平・下竹田などにみられ、土石流災害の危険性がある。徳尾付近の山地に地すべり危険箇所があり、地すべりの危険性がある。

(丹波市地域防災計画より抜粋、一部修正)

2 丹波市における「起きてはならない最悪の事態」

兵庫県強靱化計画の同項目に定められている8つの「事前に備えるべき目標」と43の「起きてはならない最悪の事態」から丹波市域に関する内容を参考に、本市の特性、過去の災害の記録等を鑑み、次のとおり設定する。

目標1 直接死を最大限防ぐ。

- 1-1 建物・交通施設等の複合的・大規模的倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生
- 1-2 密集市街地や不特定多数が集まる施設における大規模火災による多数の死傷者の発生
- 1-3 突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生
- 1-4 大規模な土砂災害（深層崩壊）等による多数の死傷者の発生

目標2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する。

- 2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止
- 2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生
- 2-3 警察・消防等の被災等による救助・救急活動資源等の絶対的不足
- 2-4 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺
- 2-5 被災地における疾病・感染症等の大規模発生
- 2-6 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生

目標3 必要不可欠な行政機能は確保する。

- 3-1 被災に伴う現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化・社会の混乱
- 3-2 行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下

目標4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する。

- 4-1 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止
- 4-2 テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態
- 4-3 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態

目標5 経済活動を機能不全に陥らせない。

- 5-1 サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下
- 5-2 エネルギー供給の停止による社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な被害
- 5-3 幹線の分断等、陸海空の基幹交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響
- 5-4 食料等の安定供給の停滞
- 5-5 異常渇水等による用水供給途絶に伴う生産活動への甚大な影響

目標 6 ライフライン・燃料供給関連施設・交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに早期に復旧させる。

- 6-1 電力の供給ネットワーク、石油・L P ガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能停止
- 6-2 上水道の長期間にわたる供給停止
- 6-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止
- 6-4 基幹的交通から地域交通網まで、陸海空の交通インフラの長期間にわたる機能停止
- 6-5 防災インフラの長期間にわたる機能不全

目標 7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない。

- 7-1 地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生
- 7-2 沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の倒壊等に伴う陥没による交通麻痺
- 7-3 ため池・防災インフラ・天然ダム等の損壊・機能不全や堆積した土砂の流出による多数の死傷者の発生
- 7-4 有害物質の大規模拡散・流出による被害の拡大
- 7-5 農地・森林等の被害による荒廃

目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する。

- 8-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態
- 8-2 より良い復興に向けたビジョンの欠如、人材の不足等により復興できなくなる事態
- 8-3 貴重な文化財や環境的資産の喪失・地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失
- 8-4 事業用地の確保・仮設住宅等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態
- 8-5 国際的風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による市内経済等への甚大な影響

IV 強靱化に向けた推進方針

1 「起きてはならない最悪の事態」別の推進方針

目標 1 直接死を最大限防ぐ。

1-1 建物・交通施設等の複合的・大規模的倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生

○建築物の耐震化

☆高齢者介護福祉施設等整備事業…高齢者施設等の耐震化、倒壊の危険性のあるブロック塀改修、非常用発電設備・給水設備の整備補助を実施する。(健康福祉部)

☆児童福祉施設等整備事業…認定こども園等の児童福祉施設の耐震化、倒壊の危険性のあるブロック塀改修、非常用発電設備・給水設備への整備補助を実施する。(健康福祉部)

☆住宅の耐震診断・改修事業…①簡易耐震診断事業、②丹波市ひょうご住まいの耐震化促進事業、③土砂災害特別警戒区域内の住宅の除却・移転の促進等を実施する。(建設部)

☆市営住宅長寿命化事業…丹波市公営住宅等長寿命化計画に基づき、長期的な活用を図る市営住宅の外壁及び屋根防水等の改修を行い、公営住宅等ストック総合改善事業を推進する。(建設部)

【令和2年度以降実施箇所】

・牛河内団地外壁等改修(住宅棟2棟、集会所1棟ほか)

・柘団地外壁等改修・屋上防水(住宅棟3棟、集会所1棟ほか)

○危険空き家の除却、実態調査などの空き家対策

☆空き家対策総合支援事業、空き家再生等推進事業、丹波市空き家等対策計画に基づく事業を推進する。(建設部)

○交通施設・沿道建築物の耐震化

☆鉄道駅・施設の耐震化の確認と更新等に向けての事業者との連携・協議を検討する。(ふるさと創造部)

☆緊急輸送道路となる舞鶴若狭自動車道・北近畿豊岡自動車・国道175号等の橋脚等交通施設の維持管理状況を関係機関で共有することを検討する。(建設部)

1-2 密集市街地や不特定多数が集まる施設における大規模火災による多数の死傷者の発生

○家屋等が密集する市街地の改善

☆家屋等が密集する市街地については、幅員の狭い道路の拡幅やオープンスペースの整備、老朽建築物の除去や建替え、不燃化等により、官民が連携して計画的な解消を図る。(建設部)

○防火水槽及び消火栓等の消防水利の整備充実

☆未整備地域を中心に耐震性地下式の防火水槽の整備を進めるとともに、消火栓等の消防施設の整備補助を実施する。

○消防団組織の機能強化

☆消防団の資機材充実を図る。

1-3 突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生

○総合的な治水対策

☆排水機場機械設備整備及び点検…市が管理する排水機場の長寿命化計画に基づく整備工事を実施する。(建設部)

【令和2年度以降実施箇所】

・母坪・犬岡・市島中央・甲南の排水機場の長寿命化の実設計及び整備工事

☆河川改修工事…河川改良・整備を行い、浸水被害を軽減させる。(建設部)

【令和2年度以降実施箇所】

(準) 水上川・(普) 岩倉川支川・(普) 神原川・(普) 岩戸川・(普) 西大谷川・(普) 吉谷谷川・(準) 朝阪谷川・(普) 倉崎川・

(普) 殿谷谷川・(普) 奥山谷川・(普) 福田谷川・(普) 大門小野応地川

☆内水対策事業…内水対策を行い、市街地の浸水被害を軽減させる。(建設部)

【令和2年度以降実施箇所】

・(普) 北柏原川…一時貯留施設設置工事

・(普) 応地川・(普) 奥山谷川…内水対策工事

・西中樋門、犬岡樋門、佐野稲畑樋門、梶樋門…樋門(扉体)改良

☆河川維持工事…浸水被害を最小限にとどめるため、土砂撤去工事を行うとともに河川修繕を実施し、河川の長寿命化を図る。(建設部)

☆兵庫県が施工する砂防堰堤、治山堰堤と河川を接続する流路工の整備…県と市で役割分担を明確にし、推進する。(建設部・産業経済部)

○減災のためのソフト対策

☆防災マップの更新…防災マップを洪水浸水想定(1000分の1想定)・土砂災害(特別)警戒区域など最新のハザード情報を掲載したものに更新し、市内全戸へ配布する。(生活環境部)

☆Web版防災マップの作成…パソコンやスマートフォンから、市内のハザード情報(土砂災害・洪水)や避難所等を確認できるサイトを作成する。(生活環境部)

☆手づくりハザードマップの講習・指導…防災マップをベースに自治会単位で過去の災害発生箇所などの地域のハザード情報を集約・整理する手づくりハザードマップの作成を指導する。(生活環境部)

☆わたしの、わが家の避難計画作成の講習・指導…自宅・勤務先など自治会の防災研修時に、一人ひとりの状況に応じた避難するタイミング・避難方法・避難場所などを家族・近所を交えて事前に作成する講習会を開催する。(生活環境部)

☆地区・自治会・施設単位での避難訓練の実施…小学校区・自治会・福祉施設及び事業所等の性質・規模・ハザードリスクに特化した研修・訓練を随時実施する。(生活環境部)

☆ひょうご防災ネットの登録利用の推進…市からの防災関係情報を配信している「ひょうご防災ネット(アプリ版含む)」を各防災研修等において登録案内する。(生活環境部)

☆田んぼダムの推進…大雨時に河川や水路の水位の急上昇を抑えることで下流域の湛水被害リスクを低減させることを目的に、水田の落水口に流出量を抑制するための排水調整板等を設置して雨水貯留機能を高める「田んぼダム」の取組を推進する。(建設部・産業経済部)

1-4 大規模な土砂災害（深層崩壊）等による多数の死傷者の発生

○台風・集中豪雨等に対する防災情報の収集や発信の強化

☆防災・気象情報収集システムの適切な維持管理、操作訓練を実施する。（生活環境部）

【関連システム一覧】

- ・防災行政無線システム（屋外拡声子局 201 局、戸別受信機約 23,000 台）
- ・防災情報システム（防災無線・防災メール・市HP・SNS への一斉配信）
- ・気象観測システム（市内 6 カ所、雨量計 15 カ所）
- ・河川等カメラシステム（市内 7 カ所）
- ・IP トランシーバーシステム
- ・テレビ会議システム
- ・箇所別土砂災害危険度予測システム
- ・兵庫県フェニックス防災システム

○山地防災・土砂災害対策

☆土砂流出対策工事…土砂溜工により溪流から河川への土砂流出被害を抑制する。（建設部）

【令和 2 年度以降実施箇所】

- ・（普）牛谷川、（準）沼谷川

☆急傾斜地崩壊対策工事…県事業の対象外となる小規模急傾斜地崩壊危険箇所の対策工事を実施する。（建設部）

☆森林環境譲与税活用事業…温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林環境譲与税を財源として、これまでの森林施策では取り組めなかった未整備林の整備等に取り組む。（産業経済部）

【令和 2 年度以降の事業】

- ・経営管理集積林整備事業
- ・緊急里山林整備事業
- ・森林吸収源整備事業
- ・林業事業体等活動促進事業
- ・未整備林調査支援事業
- ・未整備林広葉樹転換促進事業
- ・資源循環型更新伐促進事業

☆斜面地域の余裕域（バッファゾーン）設置の推進…平成 26 年丹波市豪雨災害復興の過程で得た、集落の安心な居住環境確保に向けた土地利用ルールとなる山裾と住家との余裕域（バッファゾーン）を設置する取組を市域全体に進めていく。（関係各部）

○ため池及び治山対策

☆ため池定期点検業務…ため池の堤体浸食・漏水有無など老朽度の確認調査と以降の保全計画を策定する。（建設部）

【令和 2 年度以降の事業】 [別表] 26 頁に掲載

☆兵庫県実施のため池対策工事を円滑に推進する。（建設部）

【兵庫県強靱化計画中の丹波市内のため池対策】（令和元年～10 年）及び新規計画箇所

- ・皿池・古池・竹ノ下新池（春日町野上野地内）、谷田池（氷上町北野地内）、中山口池（市島町北岡本地内）、山南大池（山南町小新屋地内）
- 千代田池（氷上町石生地内）、多田野池（氷上町氷上地内）、水上大池（市島町中竹田地内）、中山池（市島町北岡本地内）

[参考] 35 頁に掲載

目標 2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する。

2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止

- 食料・飲料水の供給体制の確保
 - ☆非常食等の計画的購入…最大被害想定における必要食料数を計画的に購入・備蓄する。(数量 18,000 食) 非常食についてはアレルギー物質の配慮、調理の不要、味覚・嗜好に配慮して更新を進める。(生活環境部)
- 電力施設・水道施設・ガス管(学校施設含む)等の耐震化の推進
 - ☆水道施設の耐震化等…【6-2 記載】
- 道路交通機能の強化
 - ☆道路整備…市内幹線道路や主要 IC へ接続する市道幹線道路を改良整備し、中心部及び医療施設・工業団地・公共施設等へのアクセス向上を図る。(建設部)
 - 【令和 2 年度以降実施箇所】
 - ・市道特 17 号線、特 6 号線、佐治小和田線及び上田喜多線
 - ☆道路整備(歩道整備)…丹波医療センターへのアクセス道路・市内主要幹線道路の歩道整備・拡幅により医療センターへのアクセス機能を強化し、歩行者・自転車等の通行者の安全確保を図る。(建設部)
 - 【令和 2 年度以降実施箇所】
 - ・市道特 19 号線、春日栗柄線、東 304 号線、特 9 号線、南多田第 12 号線、南多田第 21 号線、旧国道 175 号線、特 10 号線及び谷川農免線
 - ☆通学路安全対策事業…一般道路で通学路指定区域にグリーンベルト等を設置し、通学路の安全を確保する。(建設部)
 - 【令和 2 年度以降実施箇所】 [別表] 26 頁に掲載
 - ☆橋梁長寿命化事業…老朽化した橋梁を修繕し、長寿命化を図る。(建設部)
 - 【令和 2 年度以降実施箇所】 [別表] 27 頁に掲載
 - ☆トンネル長寿命化事業…トンネルの点検、損傷箇所の修繕により長寿命化を図る。(建設部)
 - 【令和 2 年度以降実施箇所】
 - ・トンネルの定期点検(点検実施の翌年度以降、順次補修設計、工事)
 - ☆道路舗装修繕事業…老朽化した舗装を修繕し、長寿命化を図る。(建設部)
 - 【令和 2 年度以降実施箇所】 [別表] 28 頁に掲載
 - ☆道路改良工事(市単独事業)…緊急車両等の安全な通行確保を図る道路改良工事を実施する。(建設部)
 - 【令和 2 年度以降実施箇所】
 - ・市道野村中央線、丸山線、北中第 8 号線、北 368 号線、和田 3 号線、特 37 号線、田井縄環状線、南 123 号線、大森友政線、宮の本線 1 号、平井本線、東 117 号線及び矢代上鴨阪線
- 各家庭・避難所等における食料・燃料備蓄量の確保
 - ☆市民が食料、飲料水、生活必需品を備蓄するよう自主防災組織の防災研修等を通じて啓発する。(生活環境部)

2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生

- 孤立集落の発生を防ぐ設備整備
 - ☆該当集落に非常時通信手段(衛星携帯電話)を貸与する。(生活環境部)

- 小規模集落における避難所機能の強化
 - ☆自主防災組織育成助成事業で中長期避難に用いる資機材整備を重点的に推進する。(生活環境部)
 - 道路交通機能の強化【2-1 重複】
- 2-3 警察・消防等の被災等による救助・救急活動資源等の絶対的不足**
- 消防の災害対応力強化
 - ☆救助関係機関との定期的な合同救助訓練の実施を検討する。(生活環境部・消防本部)
 - ☆「丹波市消防本部受援計画」の体制を早期に構築するための訓練の実施(消防本部)
 - 自主防災組織の災害対応力強化
 - ☆地域の特性に応じた防災研修・訓練を実施する。(生活環境部)
 - ☆自主防災組織を対象に資機材整備の助成を行う。(生活環境部)
 - ☆自主防災組織指導者を対象とする専門研修を共同実施する。(県・生活環境部)
 - 防災関係機関との連携強化・訓練
 - ☆警察・自衛隊・消防団・自主防災組織・自治協議会等合同での避難訓練・避難所(開設・運営)訓練の実施を検討する。(生活環境部)
- 2-4 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺**
- 医療施設の耐震化
 - 救急・医療体制の充実
 - ☆救急搬送体制の強化…救急車両の計画的更新による設備・装備の更新(消防本部)
 - 病院等医療機関における非常用電源等の確保
 - 道路交通機能の強化【2-1 重複】
 - 災害時用臨時ヘリポートの選定と活用
- 2-5 被災地における疾病・感染症等の大規模発生**
- 疾病・感染症対策に係る体制の構築
 - ☆感染症の発生・まん延を防ぐために、平時から市民に対し感染症予防の啓発を行う。(健康福祉部)
 - ☆感染症対策資機材を適切に備蓄する。(健康福祉部・生活環境部)
 - 下水道施設の耐震化
 - ☆汚水が滞留することによる疫病・感染症等の発生を防止するため、下水道施設の耐震化・耐水化を図る。(上下水道部)
 - ☆浄化槽設置整備事業…浄化槽推進区域内での浄化槽の更新(生活環境部)
- 2-6 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生**
- 避難所の生活の質の強化
 - ☆学校施設環境改善(老朽化対策・長寿命化改良)…老朽化した施設の大規模改修を行い、施設の長寿命化により学校施設等の充実、災害時避難所としての安全確保・環境改善を図る。(教育部)
 - 【令和2年度以降実施箇所】

- ・小川小学校（東校舎大規模改造）
- ・崇広小学校（プール改造）
- ・久下小学校（北校舎大規模改造、エレベータ新設）
- ・北小学校（北校舎長寿命化改修）
- ・吉見小学校（統合改修及び増築）
- ・竹山小学校（統合改修）
- ・小川小学校（南校舎長寿命化改修）
- ・柏原・氷上学校給食センター（大規模改造・空調設備更新）
- ・小中学校（感染防止対策、トイレ洋式化・手洗い場の自動水栓）

☆中学校特別教室の空調設備整備を実施した。（教育部）

☆中学校屋内運動場の空調設備整備を実施する。（教育部）

☆小学校特別教室の空調設備整備を実施する。（教育部）

☆小学校屋内運動場の照明設備整備を実施する。（教育部）

☆住民センター・福祉センター施設環境改善（老朽化対策・長寿命化改修）…老朽化した施設の大規模改修を行い、施設の長寿命化により地域福祉拠点施設の充実と災害時避難所としての安全確保・環境改善を図る。（健康福祉部、まちづくり部）

【令和2年度以降実施箇所】

- ・丹波市柏原福祉センター「木の根センター」（長寿命化改修）
- ・丹波市春日福祉センター「ハートフルかすが」（長寿命化改修）
- ・山南住民センター（やまなみホール含む）（長寿命化改修）

☆ベッド・パーテーションなど避難所用資機材を適時整備する。（生活環境部）

☆水防センター施設環境改善（長寿命化改修）…老朽化した施設の改修を行い、施設の長寿命化により水防施設としての機能を維持する。（生活環境部）

○大規模避難施設の耐震化

☆山南中学校・和田中学校統合に向けた新校舎整備工事を実施した。（教育部）

目標3 必要不可欠な行政機能は確保する。

3-1 被災に伴う現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化・社会の混乱

○治安の確保に必要な体制、装備資機材の充実強化

☆避難所用の防犯・保安資機材の整備を検討する。（生活環境部）

☆消防団、防犯協会、警備会社などによる被災地域のパトロールの実施について関係機関と調整・検討をする。（生活環境部）

3-2 行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下

○市庁舎の耐震化

☆事務所内事務機器・什器類の固定…本庁（第2庁舎）・春日庁舎・山南支所（教育部）は耐震対応済のため、書架・什器類・コピー機類の適切な固定設置を検討する。（各庁舎管理担当部）

☆老朽化が著しい市島支所を解体し、支所機能を備えた複合施設を整備する。（総務部・財務部・まちづくり部）

☆避難所になる住民センターに所在する柏原支所・青垣支所は、災害時に支所機能・避難所機能がともに確保できるように施設及び設備・什器類の耐震性確保、適切な固定設置を検討する。（総務部・まちづくり部）

○災害時即時対応体制の強化

- ☆災害発生時においても、必要最低限の行政サービスが提供できるよう業務継続計画を適宜見直す。(各部署)
- ☆職員の安否確認機能を有した一斉伝達手段(職員向けメール)を活用した定期的な訓練を実施する。(生活環境部)
- ☆庁舎・施設間の緊急時通信手段として、I P トランシーバーを配置し、定期的な通信訓練を実施する。(生活環境部)
- 市域・県域を越えた連携強化
 - ☆県民局管外の隣接市町(朝来市・多可町・西脇市)及び大丹波圏域の市町(福知山市・綾部市・亀岡市・南丹市・京丹波町)の防災担当職員との連携・交流を進め、防災訓練における支援要請訓練実施など、合同訓練を検討する。(生活環境部)

目標 4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する。

4-1 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止

- 情報通信手段の確保
 - ☆次の通信機器の適切な維持管理・操作訓練により、大規模災害時の外部通信機能を確保する。(生活環境部)
 - ・兵庫県フェニックス防災システム(LGWAN 回線・衛星回線)
 - ・衛星電話・F A X
 - ・災害時有線電話(NTT 2回線)
 - ・衛星携帯電話(KDDI 1台)
- 電力供給の維持に係るインフラ整備
 - ☆発動機式発電機以外の屋内使用可能な大容量蓄電池・発電機器などの計画的購入・備蓄を検討する。(生活環境部)

4-2 テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態

- 情報通信手段の確保
 - ☆防災行政無線設備の適切な維持管理…屋外拡声スピーカー(デジタル60MHz帯)・戸別受信機(アナログ400MHz帯)の特性を活用し、大規模災害・停電時にいずれかを用いて放送ができるよう維持管理する。(生活環境部)

4-3 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態

- 市・消防・警察等の情報の迅速な伝達と共有
 - ☆警察・関係機関の市災害対策本部会議への参加、I P トランシーバー貸与など非常時用の通信手段の整備、確保を検討する。(生活環境部)
- 雨量・河川水位・土砂災害危険度予測情報等の迅速な伝達と共有
 - ☆テレビ会議システムのデータ共有機能により、防災関係各システムの観測・監視情報を会議参加者と同時に共有する。(生活環境部)
- 情報収集・提供に係る人材育成
 - ☆防災情報システムの職員訓練やI P トランシーバー・防災用タブレットの操作訓練を定期的実施し、操作可能な職員を増員する。(生活環境部)
- 避難行動要援護者の避難支援体制の構築
 - ☆避難行動要援護者が円滑かつ迅速に避難できるように、平常時から個別避難計画を作成し、災害時の支援体制づくりの充実を図る。(生活環境部・健康福祉部)

目標5 経済活動を機能不全に陥らせない。

5-1 サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下

- 市内事業所のBCP策定の推進
 - ☆大規模災害時における事業所の被災や生産力の低下を防ぐため、市内事業所のBCP策定を促進する。(生活環境部・産業経済部)

5-2 エネルギー供給の停止による社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な被害

- 道路交通機能の強化【2-1重複】
- 工場・事業所等における自家発電設備の導入や燃料の備蓄量の確保
 - ☆国の補助事業を活用して、市内事業所に非常用発電設備や燃料備蓄タンクの導入を検討する。(生活環境部)
 - (参考) 中小企業庁：災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金(令和元年度補正予算事業)

5-3 幹線の分断等、陸海空の基幹交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響

- 道路交通機能の強化【2-1重複】
- 鉄道機能の強化

5-4 食料等の安定供給の停滞

- 農林水産業に係る生産基盤等の強化
 - ☆農業水路等長寿命化・防災減災事業…老朽化した農業水利施設の長寿命化、畑地化などの汎用化やパイプライン、ICT化など水利用の効率化、水管理の省力化を図る。(建設部)
 - ☆卸売市場の将来的な機能強化、施設の方向性の検討…卸売市場での市内生産物の集約・販売・流通の比重を高めるための活性化施策と、将来の整備方針について検討する。(産業経済部)
- 道路交通機能の強化【2-1重複】

5-5 異常渇水等による用水供給途絶に伴う生産活動への甚大な影響

- 水資源の有効利用等の推進
 - ☆広域送水管の整備など、水を融通しあえる仕組みづくりを推進する。(上下水道部)
 - ☆農業水路等長寿命化・防災減災事業…農業水利施設の長寿命化対策及び防災減災対策による水管理労力軽減と維持管理コストの低減を図る。(建設部)

目標6 ライフライン・燃料供給関連施設・交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに早期に復旧させる。

6-1 電力の供給ネットワーク、石油・LPガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能停止

- ライフライン関係事業者の防災対策
 - ☆平時からの関係機関との相互連携協力体制の構築や従業員への防災教育等の実施を促す。(生活環境部)
- 訓練の実施

☆関係機関による防災訓練を実施する。(生活環境部)

6-2 上水道の長期間にわたる供給停止

○水道施設の耐震化等

☆管路更新計画に基づく老朽管の更新工事を行い、管路の強靱化を進めるとともに、重要給水施設路線及び配水池など水道施設の長寿命化や耐震化等の整備により、災害に強い安定した水道システムを構築する。(上下水道部)

☆一部の水道施設が被災したとき、断水範囲を最小限に抑えるために市内全域に水融通ができるよう管路網を整備する。(上下水道部)

○広域的な応援体制の整備

☆長期間の断水に備え、給水車を保有し、日頃から点検及び給水訓練を行う。(上下水道部)

☆本市だけでは対応できない大規模な断水については、県内の災害応援協定に基づき応援を要請する。また、近隣市と定期的に合同給水訓練や情報交換を行い、災害対応に備える。(上下水道部)

6-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止

○下水道施設の耐震化等

☆公共下水道施設の浸水対策事業…公共下水道の雨水幹線の維持管理及び強制排水施設の整備により集中豪雨による浸水被害を防ぐ。(上下水道部)

【実施個所】

東部雨水ポンプ場(改築工事)

☆下水道施設改築事業…下水道ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の長寿命化、耐震化等の整備により、災害時における汚水処理の機能を確保する。(上下水道部)

【実施箇所】

柏原浄化センター耐震化工事(管理棟、機械棟)

○農業集落排水施設の老朽化対策

☆農業集落排水施設最適整備構想に基づく下水道施設の長寿命化、耐震化等の整備により、災害時における汚水処理の機能を確保する。(上下水道部)

○浄化槽の老朽化対策

☆浄化槽設置整備事業を実施する。(生活環境部)【2-5重複】

☆コミュニティ・プラントの長寿命化等の整備により、災害時における汚水処理の機能を確保する。(上下水道部)

6-4 基幹的交通から地域交通網まで、陸海空の交通インフラの長期間にわたる機能停止

○道路交通機能の強化【2-1重複】

○鉄道機能の強化

6-5 防災インフラの長期間にわたる機能不全

○老朽化対策の着実な推進

☆ため池定期点検業務を実施する。(建設部)【1-4重複】

○人材・資機材の確保

☆防災インフラの速やかな復旧のため、建設業団体などの関係機関と連携し、必要な人員・資機材の確保を図る。(建設部・上下水道部)

目標 7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない。

7-1 地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生

○消防の災害対応力強化

☆消防団が自主防災組織等と連携して行う実践的な訓練を支援し、地域防災力の充実強化を図る。(生活環境部・消防本部)

○市街地の改善【1-2重複】

7-2 沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の倒壊等に伴う陥没による交通麻痺

○住宅・建築物の耐震化

○交通規制等の実施

☆道路交通情報を正確に把握し、的確に交通規制等を実施する。(建設部)

☆道路整備…市内幹線道路や主要ICへ接続する市道幹線道路を改良整備し、中心部及び医療施設・工業団地・公共施設等へのアクセス向上を図る。(建設部)【2-1重複】

☆橋梁長寿命化事業…老朽化した橋梁を修繕し、長寿命化を図る。(建設部)【2-1重複】

☆トンネル長寿命化事業…トンネルの点検、損傷箇所の修繕により長寿命化を図る。(建設部)【2-1重複】

☆道路舗装修繕事業…老朽化した舗装を修繕し、長寿命化を図る。(建設部)【2-1重複】

☆道路改良工事(市単独事業)…緊急車両等の安全な通行確保を図る道路改良工事(建設部)【2-1重複】

7-3 ため池・防災インフラ・天然ダム等の損壊・機能不全や堆積した土砂の流出による多数の死傷者の発生

○ため池等の整備

☆ため池定期点検業務を実施する。(建設部)【1-4重複】

○計画的な定期点検と適切な日常管理の推進

☆農業水路等長寿命化・防災減災事業を実施する。(建設部)【5-4重複】

○台風・集中豪雨等に対する防災情報の収集や発信の強化

☆危険箇所の周知や自主避難の判断材料となる危険度情報を提供する。(生活環境部)

○山地防災・土砂災害対策

☆兵庫県実施の土砂災害対策を円滑に推進する。(関係各部)

【兵庫県強靱化計画中の丹波市内の土砂災害対策】(令和元年～10年)

砂防堰堤工 14箇所、待受擁壁工 8箇所

[参考] 35頁に掲載

☆林道点検診断・保全整備…林道施設(橋梁)の長寿命化に向けた個別施設計画の作成と点検・維持管理を実施する。(産業経済部)

【令和2年度以降の事業】 [別表] 33頁に掲載

7-4 有害物質の大規模拡散・流出による被害の拡大

○マニュアルの整備等

☆自然災害被害による有害物資の拡散・流出等の防止に向けて、県担当部署との事故発生を想定したマニュアルの整備を検討する。(関係各部)

7-5 農地・森林等の被害による荒廃

- 農地・農業水利施設等の保全管理
 - ☆農業水路等長寿命化・防災減災事業を実施する。(建設部)【5-5重複】
- 森林の保全管理
 - ☆林業補助金交付事業…森林の保全管理のための間伐の推進、路網整備、高性能林業機械導入支援、森林経営計画作成を促進する。(産業経済部)
 - ☆林道点検診断・保全整備を実施する。(産業経済部)【7-3重複】
- 災害に強い森づくりの推進
 - ☆森林・山村多面的機能発揮対策事業…市民参画型の森林の保全活動・山村地域の活性化に資する取組を支援する。(産業経済部)

目標8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する。

8-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態

- 災害廃棄物処理
 - ☆大規模災害時に速やかに開設でき、分別収集を実施することで、処分先の調整・廃棄物の搬出、仮置場等の施設の復旧整備が図れるよう事前に地域・地区単位での仮置場や受入拠点を検討する。(生活環境部)
- 堆積土砂の撤去
 - ☆市の流入土砂等撤去費助成事業や国の堆積土砂排除事業(令和元年台風第19号災害時に実施)などを活用し、住宅地や住宅敷地内など生活圏域に流入した土砂を速やかに撤去・処分できる体制・制度を検討する。(建設部)

8-2 より良い復興に向けたビジョンの欠如、人材の不足等により復興できなくなる事態

- 人材の育成・確保
 - ☆事前復興計画の策定…大規模な地震災害、風水害で地域・地区単位の広域的な被害が発生した際に、被害を最小限に留める、被災後の復旧・復興の方針を速やかに示すために必要な事前復興計画について、災害種別、地域・地区単位での策定を検討する。(関係各部)

8-3 貴重な文化財や環境的資産の喪失・地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失

- 地域の防災人材の育成
 - ☆防災担当部局職員の災害対応力を向上させる。(生活環境部)
- こころのケア体制の強化
- 災害ボランティア活動支援体制の整備
 - ☆災害ボランティアが国、県の交通費支援などの制度を利用し、速やかに被災地での活動に参加できるよう関係機関と検討する。(関係各部)
- 文化財の防災(耐震対策、防火対策、防災対策)の向上

8-4 事業用地の確保・仮設住宅等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態

- 地籍調査の実施
 - ☆市内全域で地籍調査を実施し、災害等に備える。(建設部)
- 人材の育成・確保
 - ☆大規模災害時に速やかなインフラ復旧をするため、通常時から以下の関係

- 機関・団体等との連携・人的交流を図れるよう検討する。(関係各部)
- ・国土交通省・近畿地方整備局（リエゾン、TEC-FORCE 等）
 - ・農林水産省・農業農村災害緊急派遣隊（通称：水土里(みどり)災害派遣隊）
 - ・公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター
 - ・特定非営利活動法人兵庫県砂防ボランティア協会
 - ・日本水道協会兵庫県支部・県内市町水道部局
 - ・兵庫県下水道協会

8-5 国際的風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による市内経済等への甚大な影響

- 災害発生時における国内外への情報発信
- 事業者に対する事業継続支援
- 失業者に対する早期再就職支援

V 計画の推進

1 計画の進捗管理

本計画の進捗管理については、関連する計画及び年度ごとの予算編成との整合性を図りつつ、国・兵庫県の各関係事業とも連携・調整を進める。

また、社会経済情勢の変化や施策の実施状況、国・兵庫県の動向等を注視し、適時計画の修正及び改定を行う。

[別表]

○強靱化を推進する主な事業（令和2年度～令和6年度）

※ 各個別事業計画からの抽出のため実施する年度、事業内容は変更の場合がある。

目標1 直接死を最大限防ぐ。

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
1	高齢者介護福祉施設等整備事業	市内	高齢者施設の耐震化、倒壊の危険性のあるブロック塀改修、非常用発電設備・給水設備への補助	健康福祉部	実施中
2	児童福祉施設等整備事業	市内	認定こども園等の児童福祉施設の耐震化、倒壊の危険性のあるブロック塀改修、非常用発電設備・給水設備への補助	健康福祉部	実施中
3	住宅の耐震診断・改修事業	市内	簡易耐震診断、ひょうご住まいの耐震化促進事業、土砂災害特別警戒区域内住宅の除却・移転の促進	建設部	実施中
4	市営住宅長寿命化事業	春日	牛河内団地外壁等改修	建設部	R2 完了
5	市営住宅長寿命化事業	市島	柵団地外壁等改修・屋上防水	建設部	R5 完了
6	危険空き家解体撤去支援事業	市内	危険な状態にある空き家の解体撤去を促進	建設部	実施中
7	空き家等実態調査	市内	市内の空き家等について件数・状態などを実態調査	建設部	R4 完了
8	排水機場機械設備整備	柏原	母坪排水機場の長寿命化実施設計及び整備工事	建設部	実施中
9	排水機場機械設備整備	氷上	犬岡排水機場の長寿命化実施設計及び整備工事	建設部	実施中
10	排水機場機械設備整備	市島	市島中央排水機場の長寿命化実施設計及び整備工事	建設部	実施中
11	排水機場機械設備整備	氷上	甲南排水機場の長寿命化実施設計及び整備工事	建設部	実施中
12	河川改修工事	柏原	(普) 矢走川	建設部	R5 完了
13	河川改修工事	氷上	(準) 朝阪谷川	建設部	実施中
14	河川改修工事	青垣	(普) 吉谷谷川	建設部	R4 完了
15	河川改修工事	山南	(普) 西大谷川	建設部	R6 完了
16	河川改修工事	市島	(準) 水上川	建設部	R5 完了
17	河川改修工事	市島	(普) 岩倉川支川	建設部	R3 完了
18	河川改修工事	市島	(普) 神原川	建設部	R3 完了
19	河川改修工事	市島	(普) 岩戸川	建設部	実施中
20	河川改修工事	市島	(普) 倉崎川	建設部	R4 完了
21	河川改修工事	青垣	(普) 殿谷谷川	建設部	R6 完了
22	河川改修工事	山南	(普) 奥山谷川	建設部	R4 完了

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
23	河川改修工事	山南	(普) 福田谷川	建設部	実施中
24	河川改修工事	氷上	(普) 法地川	建設部	R4 完了
25	河川改修工事	氷上	(普) 大門小野応地川	建設部	R4 完了
26	内水対策事業	柏原	(普) 北柏原川一時貯留施設設置工事	建設部	R4 完了
27	内水対策事業	山南	(普) 応地川・(普) 奥山谷川内水対策工事	建設部	R5 完了
28	内水対策事業	市内	樋門(扉体)改良	建設部	実施中
29	土砂災害流出対策工事	氷上	(準) 沼谷川	建設部	R3 完了
30	土砂災害流出対策工事	市島	(普) 牛谷川	建設部	R3 完了
31	土砂撤去工事	氷上	(準) 香良谷川	建設部	R2 完了
32	土砂撤去工事	市島	(普) 上垣川	建設部	R2 完了
33	土砂撤去工事	市島	(普) 谷尻川	建設部	R2 完了
34	土砂撤去工事	柏原	(普) 室地川	建設部	R3 完了
35	土砂撤去工事	柏原	(普) 三原川	建設部	R3 完了
36	土砂撤去工事	氷上	(準) 三原徳江谷川	建設部	R3 完了
37	土砂撤去工事	柏原	(普) 室谷川	建設部	R3 完了
38	土砂撤去工事	市島	(準) 水上川	建設部	R3 完了
39	土砂撤去工事	氷上	(準) 油利谷川	建設部	R4 完了
40	土砂撤去工事	春日	(普) 風呂吹川	建設部	R4 完了
41	土砂撤去工事	氷上	(普) 南高谷川	建設部	R4 完了
42	土砂撤去工事	氷上	(普) 黒井川上流川	建設部	R4 完了
43	土砂撤去工事	氷上	(準) 妙法寺谷川	建設部	R4 完了
44	土砂撤去工事	柏原	(普) 西谷川	建設部	R4 完了
45	土砂撤去工事	春日	(準) 柚津川	建設部	R4 完了
46	土砂撤去工事	氷上	(準) 上新庄谷川	建設部	R4 完了
47	土砂撤去工事	市島	(普) 才田川	建設部	R4 完了
48	土砂撤去工事	青垣	(普) 宮ノ奥谷川	建設部	R4 完了
49	土砂撤去工事	柏原	(普) 法路川	建設部	R4 完了
50	土砂撤去工事	市島	(普) 岩倉川	建設部	R4 完了
51	土砂撤去工事	柏原	(普) 久原川	建設部	R5 完了
52	土砂撤去工事	氷上	(準) 朝阪谷川	建設部	R5 完了
53	土砂撤去工事	氷上	(準) 鴨内谷川	建設部	R5 完了
54	土砂撤去工事	青垣	(普) 堀川谷川	建設部	R5 完了
55	土砂撤去工事	青垣	(普) 栗住野谷川	建設部	R5 完了
56	土砂撤去工事	青垣	(普) 坊ヶ谷谷川	建設部	R5 完了
57	土砂撤去工事	春日	(普) 高谷川	建設部	R5 完了
58	土砂撤去工事	市島	(普) 後地川	建設部	R5 完了
59	土砂撤去工事	市島	(普) 酒梨川	建設部	R6 完了
60	土砂撤去工事	山南	(普) 福田谷川	建設部	R6 完了
61	土砂撤去工事	春日	(普) 大門川	建設部	R6 完了
62	土砂撤去工事	青垣	(普) 法用谷川	建設部	R6 完了
63	土砂撤去工事	柏原	(普) 藤の目川	建設部	R6 完了
64	土砂撤去工事	青垣	(普) 西倉谷川	建設部	R6 完了
65	土砂撤去工事	市島	(普) 森谷川	建設部	R6 完了
66	土砂撤去工事	青垣	(普) 上地川	建設部	R6 完了

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
67	土砂撤去工事	春日	(普) 国領川	建設部	R6 完了
68	土砂撤去工事	柏原	(普) 溝尻川	建設部	R6 完了
69	土砂撤去工事	氷上	(準) 南油良谷川	建設部	R6 完了
70	土砂撤去工事	春日	(普) 香呂谷川	建設部	R6 完了
71	土砂撤去工事	市島	(普) 上牧川	建設部	R6 完了
72	土砂撤去工事	市島	(普) 長尾川	建設部	R6 完了
73	土砂撤去工事	春日	(普) 門前川	建設部	R6 完了
74	土砂撤去工事	氷上	(準) 南油良谷川	建設部	
75	土砂撤去工事	氷上	(普) 黒井川上流川	建設部	
76	土砂撤去工事	氷上	(準) 長野谷川	建設部	
77	土砂撤去工事	氷上	(準) 高谷川	建設部	
78	土砂撤去工事	青垣	(普) 井の口谷川	建設部	
79	土砂撤去工事	青垣	(普) 滝谷川	建設部	
80	土砂撤去工事	山南	(普) 福田谷川	建設部	
81	土砂撤去工事	市島	(普) 坂折川	建設部	
82	土砂撤去工事	市島	(普) 石原谷川	建設部	
83	土砂撤去工事	春日	(普) 瀧谷川	建設部	
84	土砂撤去工事	春日	(準) 古呂地川	建設部	
85	土砂撤去工事	春日	(準) 黒井川	建設部	
86	ため池定期点検	市内	特定ため池の点検	建設部	実施中

目標 2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する。

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
1	道路整備事業	氷上	特 17 号線	建設部	実施中
2	道路整備事業	氷上	特 6 号線	建設部	
3	道路整備事業	青垣	小和田平野線	建設部	
4	道路整備事業	青垣	佐治小和田線	建設部	実施中
5	道路整備事業	市島	上田喜多線	建設部	実施中
6	道路整備 (歩道整備)	柏原	南多田第 12 号線	建設部	
7	道路整備 (歩道整備)	柏原	南多田第 21 号線	建設部	
8	道路整備 (歩道整備)	氷上	東 304 号線	建設部	実施中
9	道路整備 (歩道整備)	氷上	特 9 号線	建設部	実施中
10	道路整備 (歩道整備)	氷上	特 10 号線	建設部	実施中
11	道路整備 (歩道整備)	氷上	特 19 号線	建設部	実施中
12	道路整備 (歩道整備)	春日	春日栗柄線	建設部	実施中
13	道路整備 (歩道整備)	春日	旧国道 175 号線	建設部	
14	道路整備 (歩道整備)	山南	谷川農免線	建設部	実施中
15	通学路安全対策事業	氷上	特 15 号線	建設部	R4 完了
16	通学路安全対策事業	氷上	南 123 号線	建設部	R4 完了
17	通学路安全対策事業	氷上	特 9 号線	建設部	
18	通学路安全対策事業	青垣	青垣中央線	建設部	R5 完了
19	通学路安全対策事業	春日	春日栗柄線	建設部	実施中
20	通学路安全対策事業	春日	旧国道 175 号線	建設部	実施中
21	通学路安全対策事業	山南	野坂奥線	建設部	R4 完了

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
22	通学路安全対策事業	市島	市島大橋線	建設部	R4 完了
23	通学路安全対策事業	市島	矢代上鴨阪線	建設部	R5 完了
24	通学路安全対策事業	柏原	市第 33 号線	建設部	R4 完了
25	通学路安全対策事業	柏原	南多田第 5 号線	建設部	R4 完了
26	通学路安全対策事業	山南	和田小新屋線	建設部	R4 完了
27	通学路安全対策事業	氷上	特 3 号線	建設部	R4 完了
28	通学路安全対策事業	氷上	特 1 号線	建設部	R3 完了
29	通学路安全対策事業	氷上	中央 107 号線	建設部	R5 完了
30	通学路安全対策事業	氷上	特 37 号線	建設部	R4 完了
31	通学路安全対策事業	氷上	東 214 号線	建設部	R4 完了
32	通学路安全対策事業	市島	八日市水西線	建設部	R4 完了
33	通学路安全対策事業	市島	八日市今中線	建設部	R5 完了
34	通学路安全対策事業	市島	十市矢代線	建設部	R4 完了
35	通学路安全対策事業	市島	北岡本上垣線	建設部	R4 完了
36	通学路安全対策事業	市島	上牧春日町線	建設部	R5 完了
37	通学路安全対策事業	市島	勅使与戸線	建設部	R4 完了
38	通学路安全対策事業	春日	野上野多利線	建設部	R4 完了
39	通学路安全対策事業	春日	野上野七日市線	建設部	R4 完了
40	通学路安全対策事業	柏原	南多田第 3 号線	建設部	R4 完了
41	橋梁長寿命化事業 (点検)	市内	橋梁定期点検 (令和元年 ~)	建設部	実施中
42	橋梁長寿命化事業	柏原	相生橋	建設部	R3 完了
43	橋梁長寿命化事業	柏原	大神橋	建設部	R3 完了
44	橋梁長寿命化事業	柏原	柏原新橋	建設部	R3 完了
45	橋梁長寿命化事業	柏原	木の根橋	建設部	R6 完了
46	橋梁長寿命化事業	氷上	池田橋	建設部	
47	橋梁長寿命化事業	氷上	犬岡橋	建設部	R3 完了
48	橋梁長寿命化事業	氷上	犬岡小橋	建設部	R4 完了
49	橋梁長寿命化事業	氷上	長野橋	建設部	
50	橋梁長寿命化事業	氷上	公民館前橋	建設部	R3 完了
51	橋梁長寿命化事業	氷上	正尺橋	建設部	R3 完了
52	橋梁長寿命化事業	氷上	高屋敷橋	建設部	R4 完了
53	橋梁長寿命化事業	氷上	第 2 寺ノ下橋	建設部	R4 完了
54	橋梁長寿命化事業	氷上	南谷橋	建設部	
55	橋梁長寿命化事業	氷上	屋添橋	建設部	R4 完了
56	橋梁長寿命化事業	青垣	上板橋	建設部	実施中
57	橋梁長寿命化事業	青垣	奥塩久橋	建設部	R4 完了
58	橋梁長寿命化事業	青垣	奥の谷上橋	建設部	
59	橋梁長寿命化事業	青垣	奥の谷下橋	建設部	R6 完了
60	橋梁長寿命化事業	青垣	カタセ橋	建設部	R4 完了
61	橋梁長寿命化事業	青垣	川茶橋	建設部	実施中
62	橋梁長寿命化事業	青垣	鶏足寺橋	建設部	R3 完了
63	橋梁長寿命化事業	青垣	小谷橋	建設部	R5 完了
64	橋梁長寿命化事業	青垣	新橋	建設部	R4 完了
65	橋梁長寿命化事業	青垣	新川橋	建設部	R4 完了
66	橋梁長寿命化事業	青垣	滝谷上橋	建設部	R4 完了

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
67	橋梁長寿命化事業	青垣	竹本橋	建設部	R5 完了
68	橋梁長寿命化事業	青垣	中地橋	建設部	R3 完了
69	橋梁長寿命化事業	青垣	天神橋	建設部	R4 完了
70	橋梁長寿命化事業	青垣	道ノ下橋	建設部	R3 完了
71	橋梁長寿命化事業	青垣	宮橋	建設部	R5 完了
72	橋梁長寿命化事業	青垣	明号上地橋	建設部	R5 完了
73	橋梁長寿命化事業	青垣	明号中地橋	建設部	R5 完了
74	橋梁長寿命化事業	青垣	大サコ橋	建設部	R1 完了
75	橋梁長寿命化事業	市島	大町坂3号橋	建設部	R3 完了
76	橋梁長寿命化事業	春日	野上野大橋	建設部	R4 完了
77	橋梁長寿命化事業	青垣	ヲチカタ橋	建設部	R4 完了
78	橋梁長寿命化事業	山南	岡本橋	建設部	R3 完了
79	橋梁長寿命化事業	山南	金屋橋	建設部	R3 完了
80	橋梁長寿命化事業	青垣	砂田橋	建設部	R6 完了
81	橋梁長寿命化事業	山南	松尾橋	建設部	
82	橋梁長寿命化事業	山南	水行橋	建設部	R3 完了
83	橋梁長寿命化事業	山南	牧山橋	建設部	R5 完了
84	橋梁長寿命化事業	山南	岩尾橋	建設部	
85	橋梁長寿命化事業	市島	いしや橋	建設部	R4 完了
86	橋梁長寿命化事業	市島	市島大橋	建設部	
87	橋梁長寿命化事業	市島	上牧橋	建設部	実施中
88	橋梁長寿命化事業	市島	恵比須神社橋	建設部	R3 完了
89	橋梁長寿命化事業	市島	奥高坂橋	建設部	R3 完了
90	橋梁長寿命化事業	市島	片山橋	建設部	R3 完了
91	橋梁長寿命化事業	市島	角倉谷川橋	建設部	R3 完了
92	橋梁長寿命化事業	市島	五反田橋	建設部	R3 完了
93	橋梁長寿命化事業	市島	新行橋	建設部	R4 完了
94	橋梁長寿命化事業	市島	滝畑橋	建設部	R3 完了
95	橋梁長寿命化事業	市島	戸坂大松橋	建設部	R3 完了
96	橋梁長寿命化事業	市島	峠橋	建設部	R6 完了
97	橋梁長寿命化事業	市島	長尾川小橋	建設部	R4 完了
98	橋梁長寿命化事業	市島	福下橋	建設部	R4 完了
99	橋梁長寿命化事業	市島	保ヶ渡橋	建設部	R3 完了
100	橋梁長寿命化事業	市島	山下小橋	建設部	R3 完了
101	橋梁長寿命化事業	山南	大谷橋	建設部	
102	橋梁長寿命化事業	市島	前木戸小橋	建設部	R5 完了
103	橋梁長寿命化事業	市島	高谷1号橋	建設部	R5 完了
104	橋梁長寿命化事業	青垣	砂後上橋	建設部	
105	道路舗装修繕事業	柏原	市第7号線	建設部	
106	道路舗装修繕事業	柏原	市第8号線	建設部	
107	道路舗装修繕事業	柏原	市第36号線	建設部	
108	道路舗装修繕事業	柏原	市第40号線	建設部	
109	道路舗装修繕事業	柏原	市第46号線	建設部	
110	道路舗装修繕事業	柏原	市第49号線	建設部	
111	道路舗装修繕事業	柏原	下小倉第17号線	建設部	
112	道路舗装修繕事業	柏原	下小倉第18号線	建設部	

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
113	道路舗装修繕事業	柏原	室谷第2号線	建設部	
114	道路舗装修繕事業	柏原	室谷第4号線	建設部	
115	道路舗装修繕事業	柏原	南多田第13号線	建設部	
116	道路舗装修繕事業	柏原	南多田第21号線	建設部	
117	道路舗装修繕事業	柏原	南多田第24号線	建設部	
118	道路舗装修繕事業	柏原	田路第3号線	建設部	
119	道路舗装修繕事業	氷上	特2号線	建設部	
120	道路舗装修繕事業	氷上	特3号線	建設部	
121	道路舗装修繕事業	氷上	特4号線	建設部	
122	道路舗装修繕事業	氷上	特6号線	建設部	
123	道路舗装修繕事業	氷上	特8号線	建設部	
124	道路舗装修繕事業	氷上	特9号線	建設部	
125	道路舗装修繕事業	氷上	特10号線	建設部	
126	道路舗装修繕事業	氷上	特11号線	建設部	実施中
127	道路舗装修繕事業	氷上	特12号線	建設部	
128	道路舗装修繕事業	氷上	特14号線	建設部	実施中
129	道路舗装修繕事業	氷上	特17号線	建設部	
130	道路舗装修繕事業	氷上	特18号線	建設部	R6完了
131	道路舗装修繕事業	氷上	特20号線	建設部	
132	道路舗装修繕事業	氷上	特21号線	建設部	
133	道路舗装修繕事業	氷上	特25号線	建設部	
134	道路舗装修繕事業	氷上	特26号線	建設部	
135	道路舗装修繕事業	氷上	特30号線	建設部	
136	道路舗装修繕事業	氷上	特31号線	建設部	
137	道路舗装修繕事業	氷上	特40号線	建設部	
138	道路舗装修繕事業	氷上	特43号線	建設部	
139	道路舗装修繕事業	氷上	北202号線	建設部	
140	道路舗装修繕事業	青垣	青垣芦田中央線	建設部	
141	道路舗装修繕事業	青垣	青垣中央線	建設部	
142	道路舗装修繕事業	青垣	佐治奥塩久線	建設部	
143	道路舗装修繕事業	青垣	佐治小和田線	建設部	
144	道路舗装修繕事業	青垣	新町小倉線	建設部	
145	道路舗装修繕事業	青垣	芦田中央線	建設部	
146	道路舗装修繕事業	青垣	大橋口塩久線	建設部	実施中
147	道路舗装修繕事業	青垣	口塩久田井縄線	建設部	
148	道路舗装修繕事業	青垣	田井縄本線	建設部	
149	道路舗装修繕事業	青垣	森文室線	建設部	
150	道路舗装修繕事業	青垣	大名草大稗線	建設部	
151	道路舗装修繕事業	青垣	法用谷一号線	建設部	
152	道路舗装修繕事業	青垣	遠阪川幹線	建設部	実施中
153	道路舗装修繕事業	青垣	九の尾線	建設部	
154	道路舗装修繕事業	青垣	今出線	建設部	
155	道路舗装修繕事業	春日	駅前線	建設部	
156	道路舗装修繕事業	春日	旧国道175号線	建設部	実施中
157	道路舗装修繕事業	春日	黒井野村線	建設部	
158	道路舗装修繕事業	春日	国道野上野連絡線	建設部	

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
159	道路舗装修繕事業	春日	上杉線	建設部	
160	道路舗装修繕事業	春日	新石線	建設部	実施中
161	道路舗装修繕事業	春日	新川線	建設部	実施中
162	道路舗装修繕事業	春日	平松野村線	建設部	
163	道路舗装修繕事業	春日	野村線	建設部	
164	道路舗装修繕事業	春日	大路小学校前線	建設部	
165	道路舗装修繕事業	春日	中山鹿場連絡線	建設部	
166	道路舗装修繕事業	春日	下三井庄古路地線	建設部	
167	道路舗装修繕事業	春日	運動公園線	建設部	
168	道路舗装修繕事業	春日	天王線	建設部	
169	道路舗装修繕事業	山南	谷川駅前線	建設部	実施中
170	道路舗装修繕事業	山南	谷川金屋岡本線	建設部	実施中
171	道路舗装修繕事業	山南	谷川高座線	建設部	
172	道路舗装修繕事業	山南	谷川高座本線	建設部	実施中
173	道路舗装修繕事業	山南	谷川農免線	建設部	実施中
174	道路舗装修繕事業	山南	大河池谷線	建設部	
175	道路舗装修繕事業	山南	長野北線	建設部	
176	道路舗装修繕事業	山南	井原岩屋線	建設部	
177	道路舗装修繕事業	山南	井原村森線	建設部	
178	道路舗装修繕事業	山南	岩屋本線	建設部	
179	道路舗装修繕事業	山南	久下村駅前線	建設部	実施中
180	道路舗装修繕事業	市島	塩津寺内線	建設部	
181	道路舗装修繕事業	市島	寺内友政線	建設部	
182	道路舗装修繕事業	市島	下河原上野線	建設部	
183	道路舗装修繕事業	市島	下島線	建設部	
184	道路舗装修繕事業	市島	市島稲葉線	建設部	
185	道路舗装修繕事業	市島	十市倉崎線	建設部	
186	道路舗装修繕事業	市島	八日市水西線	建設部	
187	道路舗装修繕事業	市島	北岡本久良部線	建設部	R6完了
188	道路舗装修繕事業	市島	市島市街線	建設部	
189	道路舗装修繕事業	市島	上垣線	建設部	
190	道路舗装修繕事業	市島	上田喜多線	建設部	
191	道路舗装修繕事業	市島	上牧春日町線	建設部	
192	道路舗装修繕事業	市島	長者台線	建設部	
193	道路舗装修繕事業	山南	応地草部線	建設部	実施中
194	道路舗装修繕事業	山南	坂尻応地線	建設部	実施中
195	道路舗装修繕事業	柏原	市第55号線	建設部	実施中
196	道路舗装修繕事業	山南	前川本線	建設部	実施中
197	道路舗装修繕事業	市島	前木戸梶原線	建設部	実施中
198	道路舗装修繕事業	氷上	特19号線	建設部	実施中
199	道路舗装修繕事業	氷上	特27号線	建設部	実施中
200	道路舗装修繕事業	氷上	特29号線	建設部	実施中
201	道路舗装修繕事業	柏原	南多田第12号線	建設部	実施中
202	道路改良(市単独)	柏原	北中第8号線	建設部	R3完了
203	道路改良(市単独)	氷上	特37号線	建設部	R5完了
204	道路改良(市単独)	氷上	北368号線	建設部	R3完了

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
205	道路改良（市単独）	青垣	田井縄環状線	建設部	R6 完了
206	道路改良（市単独）	春日	野村中央線	建設部	R4 完了
207	道路改良（市単独）	春日	丸山線	建設部	R3 完了
208	道路改良（市単独）	山南	和田3号線	建設部	R5 完了
209	道路改良（市単独）	氷上	南123号線	建設部	実施中
210	道路改良（市単独）	市島	大森友政線	建設部	R4 完了
211	道路改良（市単独）	青垣	宮の本線1号	建設部	実施中
212	道路改良（市単独）	山南	平井本線	建設部	R5 完了
213	道路改良（市単独）	氷上	東117号線	建設部	実施中
214	道路改良（市単独）	市島	矢代上鴨阪線	建設部	R4 完了
215	浄化槽設置整備事業	市内	浄化槽の更新	生活環境部	実施中
216	学校施設環境改善 （大規模改造・老朽）	山南	小川小学校 （東校舎大規模改造）	教育部	R2 完了
217	学校施設環境改善 （学校水泳プール耐震補強）	柏原	崇広小学校（プール改造）	教育部	R2 完了
218	学校施設環境改善 （大規模改造・老朽・障害）	山南	久下小学校（北校舎大規模改造・エレベータ新設）	教育部	R4 完了
219	山南中学校・和田中学校統合整備事業 （統合）	山南	中学校統合に向けた新校舎整備工事	教育部	R4 完了
220	学校施設環境改善 （長寿命化改良）	氷上	北小学校（北校舎長寿命化改修）	教育部	R5 完了
221	学校施設環境改善 （統合）	市島	吉見小学校 （統合改修及び増築）	教育部	実施中
222	学校施設環境改善 （統合）	市島	竹山小学校（統合改修）	教育部	
223	学校施設環境改善 （長寿命化改良）	山南	小川小学校（南校舎長寿命化改修）	教育部	R6 完了
224	学校施設環境改善 （大規模改造・空調）	氷上	柏原・氷上学校給食センター（空調設備更新）	教育部	
225	学校施設環境改善 （空調設備整備）	市内	中学校屋内運動場等（空調設備整備）	教育部	
226	学校施設環境改善 （空調設備整備）	市内	小学校特別教室（空調設備整備）	教育部	
227	学校施設環境改善 （大規模改造・教育内容）	市内	小学校屋内運動場（照明設備更新）	教育部	
228	感染防止対策	市内	小中学校（トイレ洋式化・手洗い場の自動水栓）	教育部	実施中
229	福祉センター施設環境改善（長寿命化改修）	柏原	丹波市柏原福祉センター「木の根センター」（長寿命化対策）	健康福祉部	
230	福祉センター施設環境改善（長寿命化改修）	春日	丹波市春日福祉センター「ハートフルかすが」（長寿命化対策）	健康福祉部	
231	水防センター施設環	氷上	水防センター（長寿命化	生活環境部	R4 完了

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
	境改善（長寿命化改修）		対策）		
232	住民センター施設環境改善（長寿命化改修）	山南	山南住民センター（やまなみホール含む）（長寿命化対策）	まちづくり部	

目標3 必要不可欠な行政機能は確保する。

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
1	市島複合施設整備事業	市島	老朽化が著しい市島支所を解体し、支所機能を備えた複合施設を整備する	総務部 財務部 まちづくり部	
2	山南庁舎施設環境改善（長寿命化改修）	山南	空調設備などの機械設備改修	総務部	実施中

目標5 経済活動を機能不全に陥らせない。

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
1	水利施設等保全高度化事業	青垣	農業水利調査設計（青垣町中佐治地内）	建設部	R2 完了
2	水利施設等保全高度化事業	青垣	（県営）管水路 5.8 km、暗渠排水 6.8ha、高度化支援事業・指導事業	建設部	実施中
3	農業水路等長寿命化・防災減災事業	氷上	氷上町横田地内揚水機 1 施設（2 基）更新	建設部	R2 完了
4	農業水路等長寿命化・防災減災事業	市内	揚水機 1 施設、頭首工 1 箇所、用水路工 0.8 km	建設部	R4 完了
5	農業水路等長寿命化・防災減災事業	市内	丹波Ⅵ期、Ⅶ期揚水機 6 施設	建設部	実施中
6	農業水路等長寿命化・防災減災事業	市内	丹波Ⅶ期揚水機 3 施設、頭首工 1 箇所	建設部	実施中
7	農業水路等長寿命化・防災減災事業	氷上	丹波Ⅸ期揚水機 3 施設	建設部	
8	農業水路等長寿命化・防災減災事業	市内	丹波Ⅹ期揚水機 5 施設	建設部	

目標6 ライフライン・燃料供給関連施設・交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに早期に復旧させる。

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
1	水道施設耐震化	市内	老朽管路の更新、水道施設の長寿命化・耐震化	上下水道部	実施中
2	水道管路網整備	市内	市内全域への水融通が可能な管路網の整備	上下水道部	

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
3	下水道施設浸水対策事業	市内	東部雨水ポンプ場の再整備	上下水道部	R4 完了
4	下水道施設改築事業	市内	下水道施設の長寿命化、耐震化整備	上下水道部	実施中

目標 7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない。

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
1	林道点検（芦谷線）	柏原	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
2	林道点検（芦谷線）	柏原	橋梁 2 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
3	林道点検（南金ヶ山線）	柏原	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
4	林道点検（油利奥線）	氷上	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
5	林道点検（油利奥線）	氷上	橋梁 2 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
6	林道点検（赤井線）	氷上	橋梁 1 号 鋼橋	産業経済部	R2 完了
7	林道点検（赤井線）	氷上	橋梁 2 号 鋼橋	産業経済部	R2 完了
8	林道点検（赤井線）	氷上	橋梁 4 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
9	林道点検（赤井線）	氷上	一之瀬橋 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
10	林道点検（上道線）	青垣	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
11	林道点検（上道線）	青垣	橋梁 2 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
12	林道点検（上道線）	青垣	橋梁 3 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
13	林道点検（大呂線）	青垣	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
14	林道点検（大呂線）	青垣	橋梁 2 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
15	林道点検（栗住野線）	青垣	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
16	林道点検（初原線）	山南	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
17	林道点検（初原線）	山南	橋梁 2 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
18	林道点検（初原線）	山南	橋梁 3 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
19	林道点検（塩屋線）	山南	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
20	林道点検（高山線）	山南	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
21	林道点検（相原線）	市島	橋梁 1 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
22	林道点検（二股倉線）	市島	橋梁 1 号 鋼橋	産業経済部	R2 完了
23	林道点検（二股倉線）	市島	橋梁 2 号 コンクリート橋	産業経済部	R2 完了
24	林業補助金交付事業	市内	森林管理 100% 作戦推進事業	産業経済部	実施中
25	林業補助金交付事業	市内	作業道整備促進事業	産業経済部	実施中
26	林業補助金交付事業	市内	高性能林業機械整備事業	産業経済部	実施中
27	林業補助金交付事業	市内	広葉樹林化促進モデル事業	産業経済部	R4 完了
28	森林整備地域活動支援事業	市内	森林経営計画作成促進支援	産業経済部	実施中
29	森林・山村多面的機能発揮対策事業	市内	市民活動組織が行う森林整備活動支援	産業経済部	実施中

目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する。

No.	事業名等	場所	概要	担当部	進捗状況
1	地籍調査事業	市内	一筆地調査・一筆地測量・地籍図及び地籍簿の作成等	建設部	実施中

[参考]

○兵庫県の強靱化を推進する主な事業（令和元年～令和10年）中の丹波市関連の事業一覧

※ 兵庫県強靱化計画（令和2年3月改定）中から本市に関連する事業を抜粋。

※ 治山事業については、令和7年度予定箇所を掲示。

No.	事業箇所名等	事業場所	事業概要
○総合的な治水対策			
1	(一) 加古川	山南町～青垣町	河川改修 L=12,830m、掘削、護岸 他
2	(一) 竹田川	市島町～春日町	河川改修 L=1,150m、井堰改築、築堤、橋梁他
3	(一) 黒井川	春日町黒井 他	河川改修 L=3,350m、掘削、護岸 他
○ため池対策			
1	皿池・古池	春日町野上野	堤体 73m、72m
2	竹ノ下新池	春日町野上野	堤体 104m
3	谷田池	氷上町北野	堤体 127m
4	中山口池	市島町北岡本	堤体 29m
5	山南大池	山南町小新屋	堤体 109m
6	千代田池	氷上町石生	堤体 260m
7	多田野池	氷上町氷上	堤体 56m
8	水上大池	市島町中竹田	堤体 69m
9	中山池	市島町北岡本	堤体 60m
○土砂災害対策			
1	長砂川	柏原町拳田	砂防堰堤工
2	奥山川	柏原町見長	砂防堰堤工
3	段山川	柏原町上小倉	砂防堰堤工
4	南多田田中谷川	柏原町南多田	砂防堰堤工
5	南田井川	氷上町賀茂	砂防堰堤工
6	堀壁川	市島町段宿	砂防堰堤工
7	鴨内川	氷上町鴨内	砂防堰堤工
8	上油利川	氷上町油利	砂防堰堤工
9	大崎谷川	氷上町大崎	砂防堰堤工
10	文室谷川	青垣町文室	砂防堰堤工
11	奥塩久谷川	青垣町沢野	砂防堰堤工
12	野田川	山南町谷川	砂防堰堤工
13	妙見谷川	市島町上垣	砂防堰堤工
14	横田中谷川	氷上町横田	砂防堰堤工
15	北中地区	柏原町北中	待受擁壁工
16	犬岡地区	氷上町犬岡	待受擁壁工
17	井根口地区	青垣町稲土	待受擁壁工
18	小稗(2)地区	青垣町小稗	待受擁壁工
19	尾端(1)地区	市島町上鴨阪	待受擁壁工
20	梶原地区	市島町梶原	待受擁壁工

No.	事業箇所名等	事業場所	事業概要
21	国領(2)地区	春日町国領	待受擁壁工
22	北御油(1)地区	氷上町御油	待受擁壁工
23	治山事業	氷上町北油良	谷止工、流路工
24	治山事業	市島町中竹田	谷止工、山腹工
25	治山事業	氷上町佐野	谷止工、山腹工
26	治山事業	春日町稲塚	谷止工、流路工
27	治山事業	山南町阿草	谷止工
28	治山事業	氷上町横田	谷止工、山腹工、流路工
29	治山事業	柏原町大新屋	谷止工
30	治山事業	市島町徳尾	谷止工
○森林の適正管理			
1	森林環境保全整備事業	加古川地域森林計画区ほか	森林の適正管理のために実施する間伐等の森林整備を支援。
2	農山漁村地域整備交付金	加古川地域森林計画区ほか	森林の多面的機能の高度発達のため実施する多様な森林整備を支援。
○住宅・建築物等の耐震化			
1	県営住宅 柏原南多田住宅	柏原町	第2期 計画 52戸
○防災道路の整備・強化			
1	(主) 篠山山南線 〔南バイパス〕	山南町青田～太田	バイパス L=365m (2車線)
2	(一) 稲畑柏原線 〔稲畑〕	氷上町稲畑	現道拡幅 L=500m (2車線)
3	(国) 175号 〔東勅使〕	市島町東勅使	現道拡幅 L=1,500m (2車線)
4	(国) 429号 〔榎峠バイパス〕	青垣町中佐治	バイパス L=2,300m (2車線)
5	(一) 追入市島線 〔国領〕	春日町国領	バイパス L=600m (2車線)
6	(国) 175号〔朝日〕	春日町朝日	バイパス L=1,200m (2車線)
○橋梁の耐震化			
1	(主) 多可柏原線 〔船戸橋〕	山南町梶	耐震対策・橋梁補修 L=121.0m
2	(主) 丹波加美線 〔京橋〕	氷上町氷上	耐震対策 L=115m
○法面防災対策			
1	(国) 427号ほか	丹波市ほか	落石対策等
○社会的基盤施設の老朽化対策			
1	(主) 多可柏原線 〔船戸橋〕	山南町梶	耐震対策・橋梁補修 L=121.0m
2	(一) 多田多利線 〔渡所橋〕	春日町多利	橋梁補修 L=80m
3	(一) 岩崎市島線 〔前木戸橋ほか〕	丹波市ほか	橋梁補修 L=106m